

- 今後取り組むべき観光施策が網羅されており、意欲的な内容となっている。(カー委員)
- 子供達が学校で地域について学ぶ機会を与える取組など、シビックプライド醸成に向けた施策が盛り込まれている。

本プランを推進するにあたり、区市町村や観光関連団体の役割を明確に位置付けるべき。(田川委員)
- これまで有識者会議で議論した内容が反映されている。政策目標と施策の対応関係が分かりづらいため、PDCAサイクルを機能させるため、施策のKPIや進捗の評価方法を明記すべき。(伊達委員)
- Tokyo Tokyoのアイコンなどを活用しながら、引き続き国内外に東京の魅力を発信していくとよい。

このプランを読んだ人が自分のアイデアを付加することで、当初は予定していなかった成果が出てくることに期待する。(田中委員)
- 今回盛り込まれているような宿泊施設が地域の中心となり周辺を巻き込んでいける施策を推進することにより、観光を社会的な共通資本にすることが必要。

観光への理解を促進するためには、観光客を受け入れる地域住民に対するインナーブランディングが重要。(玉井委員)

## 素案に対する委員からの主な意見

- コロナ禍からのリカバリーにおいては、**コロナ禍前の課題を解決し、より先鋭的な観光産業**を目指すべき。**非常時にも強い観光産業の構築**に向け、**インバウンド、関東圏以外の国内、関東圏**という3つの市場を意識した戦略的なアプローチが重要。

**ホテルの環境対策**については、**10年後の世界のスタンダード**を先取りした取組を進めるとよい。

(星野委員)

- **観光統計データのダッシュボード化**は良い取組であり、その**活用方法を事業者や観光協会に紹介**すると効果的。**旅行者意識の変化を踏まえ、多摩・島しょの魅力や安全安心**などに関する**情報発信を強化**していくとよい。

(牧野委員)

- **環境の政策目標**に観光分野がどのように貢献するのかが明確にするのは現段階では難しいため、**まずは都全体の目標を観光も一緒に目指す**ことにして、次のステップで観光分野の貢献を明確にした目標を設定できるようにするとよい。

MICE関連事業者も厳しい状況にあり、当面、**安全安心なMICE開催への支援**に取り組むことは評価できる。

(矢ヶ崎委員)